

天童市議会だより

2009
2.1
No. 123
TENDO



【写真：山形新聞社提供】

天童市立第一中学校の吹奏楽部の皆さんは、近くの福祉施設を訪れ、アンサンブル形式でよく知られる「森のくまさん」「きよしこの夜」や軽快でのりのいい「ジェリコの戦い」「パルス」などの曲を披露しました。アンコールでは、マーチング曲「IT'S A SMALL WORLD」を演奏し、入所者の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。

12月定例会

意見書の提出…………… 2	予算特別委員会…………… 8～9
一般質問…………… 3～6	提出議案と結果…………… 11
総括質疑…………… 7	市民の声…………… 12



開かれた議会を推進し 市民が安心して暮らせるまちに

議長 小澤 精

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、天童市議会に対し、日ごろから、深いご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年は、天童市が市制を施行してから50周年の節目を迎えた年でありました。記念式典においては、市民の皆さまとともにお祝いし、多くの先輩の方々のご功績に感謝すると共に、これまで以上に、豊かで誇れるまちづくりを子々孫々に引き継ぐことが私たちの大きな役割であると、決意を新たにいたしましたところでもあります。議会においては、「模擬議会」を開催し、市内の小中学生20人に一日議員になっていただき、市の将来を担う若い人に、市政やまちづくりへの関心を深めていただくよう努力したところであります。

また、天童市を本拠地とするサッカーのモンテディオ山形が苦節10年にして悲願のJ1入りを果たすという明るいニュースもありましたが、一方では米国に端を発した未曾有の金融危機や原油価格の乱高下などが全世界を揺るがし、国内においては、企業でのリストラが相次ぐなど、雇用環境の悪化が進み、景気の見通しも大変厳しいものとなっております。

市の財政状況も厳しい中ですが、議会といたしましても、市民の皆さまが真に求めているものは何なのかをしっかりと見極め、的確な判断を行い、開かれた議会となるよう努めるとともに、6万3000人の市民が安心して暮らせるまちづくりの実現をめざす所存であります。

本年もなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

- | | |
|--------|----|
| 副議長 | 護國 |
| 伊藤 耕一 | 議員 |
| 松田 俊雄 | 議員 |
| 村山 栄修 | 議員 |
| 矢吹 佳和 | 議員 |
| 狩野 光也 | 議員 |
| 松田 武昭 | 議員 |
| 矢萩 桂子 | 議員 |
| 山口 竹虎 | 議員 |
| 木村 幸一郎 | 議員 |
| 赤塚 義巳 | 議員 |
| 結城 達郎 | 議員 |
| 武田 和信 | 議員 |
| 後藤 諭 | 議員 |
| 山崎 昭一 | 議員 |
| 石垣 善雄 | 議員 |
| 小松 照一 | 議員 |
| 鈴木 保 | 議員 |
| 水戸 健一 | 議員 |
| 浅井 和子 | 議員 |
| 伊藤 和子 | 議員 |
| 秋葉 忠 | 議員 |



天童市情報公開・個人情報保護審査会委員

3氏に同意

現情報公開・個人情報保護審査会委員3氏が平成20年12月31日をもって任期満了となるので、次の3氏を推薦することに同意しました。

- | | |
|----|---------------|
| 再任 | 高山 克英 氏 (山形市) |
| | 彗田 静江 氏 (一日町) |
| 新任 | 中島 宏 氏 (山形市) |

人権擁護委員に 三武千種氏を再任

平成21年3月31日をもって任期満了となる現委員の三武千種氏(山口)を再任することに同意しました。

意

見

書

12月12日に議員提出の意見書1件が可決され、直ちに関係機関に送付されました。

私学助成関係予算の充実を求める意見書

(抜粋・要約)

現在、私立校における授業料滞納者が数多く存在し、また、経済的理由による退学者も毎年のように発生しているが、その数は公立校と比較し、突出している状況にある。

一方、本県の私学助成関係予算は、昨年度当初予算の約58億5千万円から、今年度当初予算は約56億7千万円と約2億円も削減されている。私学助成関係予算の削減は、現在の公私格差をさらに拡大させ、私学に子供を通わせる父母、さらには私学の経営自体にも深刻な打撃を与えるものである。

私立校における父母負担の軽減及び教育条件の改善、並びに公私格差是正のため、平成21年度当初予算における私学助成関係予算の増額を強く求める。

(山形県知事、山形県教育委員会委員長あて)

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、12月4日、5日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。市民が求める市民病院のあり様や市立公民館の果たす役割などについて、市長、教育長の見解を求めました。

公民館活動

住民の自発的活動をどう育て支援するのか



石垣昭一議員

今、社会教育は大変難しく、地域住民

の価値観の多様化とコミュニティの希薄化は大きな問題となっており、公民館の果たす役割は極めて重要になっている。新たな事業によって、いかに住民と公民館を結びつけるのが問われており、どう住民の自発的活動を育て、支援するのか伺いたい。

水戸部教育長 近年、住民の要望は多様化するとともに、環境教育や消費者教育などの公的課題に対応した教育も求められている。こうしたことから公民館では、地域のニーズに応じ、民間では提供されにくい分野の講座開設や子育てに関わる活動など、社会の要請に応じた学習活動の機会の充実に努め、その成果を地域の教育力に生かすことが重要であると考えている。



住民の身近な活動の場となっている公民館

公民館は地域住民に最も身近な施設として、学習の場、実践活動の場として大きな役割を果たしており、さらなる充実に努めていきたい。また、地域づくり委員会や社会教育団体などの自発的な活動について、公民館を拠点として各種事業を展開する中で、情報・学習機会の提供や人的・財政的支援を行い、地域社会の発展に貢献する自立した組織の育成に努めていきたい。

質問者と

質問事項

(☆印は会派名)

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

社会教育法の改正に伴う公民館の在り方について

伊藤和子議員

子どもたちがいきいき学べる学校にするために

☆政和会

矢吹栄修議員

天童市民病院の今後の展望について

本市における学校教育のあり様について

松田光也議員

本市の活性化について
天童河北線付近の安全対策について

結城義巳議員

政治家50年の経歴を持つ市長として、退任に当たっての所感を伺いたい

人事院勧告に基づく給与改定について

後藤和信議員

人間ドックの充実について

* 助産師外来のシステム導入について

浅井健一議員

* 市内中学生の冬期間における登下校について

* 地震等の災害対策について

☆かがやき

山口桂子議員

* 本市の薬物乱用防止の取り組みについて

* 冬場における公園等の安全確保について

矢萩武昭議員

* 市民病院オープン後の患者の動向と今後の対応について
* 大規模学童保育所の分離への対応について

☆つばさ21

狩野佳和議員

* 放課後子ども教室について
* 市保有スポーツ施設における児童・生徒の使用料・照明料等はすべて減免措置とすべきと考えるか、どうか

* 第一中学校の耐力度調査について

* わくわくランドの現状とこれからの課題について

市単独予算で 人的配置を



伊藤和子議員
文部科学省
が昨年度のいじめの認知件
はじめの認知件
を有する人的配置を市単独の
予算で配置すべきと考えるが
どうか。

水戸部教育長 今年度に入り
報告されたいじめは8件で、
その内4件の指導を継続して
いる。不登校の現状は、平成
20年10月末現在における病
気以外で30日以上欠席した児
童・生徒は37名で、昨年同期

より若干減少している。
平成20年度は、国のスカー
ルソーシャルワーカー活用事
業を積極的に活用して、不登
校児童・生徒の家庭との連携
に努めるなど、教師との信頼
関係を築き、安心して自分の
力を発揮できる教育環境をつ
くっていききたい。

また、特別支援教育に対す
る考え方も高まっており、専
門家によるスクリーニングや、
それに対して学校で対応でき
るコーディネーターの養成な
ど、人的な配置を進めている。

市民病院

市民が求める病院に 変わるための方策は



矢吹栄修議員
新市民病院
について、①
接遇の改善、
し、現状と将来における市民
病院の役割・あり様の具体的
な考え方を伺いたい。

遠藤市長 天童市民病院は、
妊娠・出産から小児医療まで
小児科と産婦人科連携による
一貫した医療の提供が大きな
特色であり、それを生かして
いく。
平成20年3月に、市民病院

経営改革委員会を設置したが、
公営企業として天童市民病院
がどうあるべきか、専門的な
立場から、2月の最終の委員
会までに御意見をいただき、
病院改革プランを策定したい
と考えている。
天童市民病院は、公的医療
機関としての診療のほかに高
度医療機器を活用した疾病の
早期発見及び早期治療並びに
予防医学、健診業務に力を注
ぎ、市民の健康を守る砦とし
て信頼される病院になること
が使命であると考えている。

天童河北線(踏切)

県に対する具体的要望は



松田光也議員
天童河北線
の踏切は、大
変狭く危険な
状態であり、道路幅は中途半
端なつくりのために、斜めに
踏切に進入しなければなら
ない現状を理解しているのか。
誰が見ても危険な場所をいつ
までもこのままにしておく考
えか。これまでの県に対する
具体的要望結果と市民に理解
できる具体的対策を伺いたい。

遠藤市長 旧国道13号線から
踏切までの道路改良工事の際、
事業の中で踏切を拡幅できな
いか、県と協議をしたが、山
形新幹線新庄延伸に伴うJR
との協議や踏切西側の沿道状
況等から、拡幅は難しいとの
判断が示された経過がある。
武田副市長 新幹線の
延伸ということで、抜本的に平
面交差を削減するということ
で、沿線の踏切の改修に努め
た経過がある。その後、JR
との協議の中で、平面的な踏
切の拡張は、全く協議が整わ
ないという状況下にある。

天童河北線を北の方のルー
トに路線変更する選択肢や平
面交差踏切の交通量の緩和な
どの話題もあり、県でもJR
との協議が整わず、踏切拡幅
は無理なのではないかとの厳
しい受け止め方をしている。
今後は、原点に返って県に
積極的に要望し、協議を重ね
ていきたい。



第一谷地踏切 (第四中学校前)

退任に当たっての 所感を伺いたい



結城義巳議員
遠藤市長は、乳幼児医療費を就学前まで

無料にしたことや「のぞみ学園」の新築など、経済的に恵まれない人や障がい児（者）に優しい手を差しのべた市政を行った。
多くの実績を残した名市長

であったと思うが、退任に当たっての所感と、次の市長に望むことは何かを伺いたい。
遠藤市長 昭和34年10月、天童市議会議員に初当選以来、

県会議員、国会議員、そして市長と、半世紀にわたり政治活動を続けてきた。その歩みは、今年市制施行50周年を迎えた天童市の歩みと時期を等

しくするものである。非常に感慨深いものがある。

特に、市長に就任するに当たっては、市民が主役、市民による市民のための市政の確立をめざし、市政運営に全力を傾注してきた。議員の皆さまをはじめ市民の皆さまのご理解とご協力をいただき、おむね公約は実現させていただいたものと考えている。

これまでいただいたご厚情に改めて感謝を申し上げますとともに、天童市のさらなる発展を祈念申し上げます。

老朽化に伴う 移設の計画は



浅井健一議員
現在の場所は、県指定の危険区域であ

り、万一大地震が発生した場合、老朽化した配水池が崩壊し、土石流となって周辺一帯の家屋や住民に大きな被害を及ぼす恐れがあるので、その緊急な対策について伺いたい。
遠藤市長 水道事業施設については、常に安全の確保を最優先に保守管理に努めているところである。また、大規模な地震災害時における飲料水の確保については、八幡山配水池及び舞鶴山配水池の操作を行い、約1万5000トの水を確保し、応急給水や災害などの消火活動に活用を図る考えである。

て、現在の八幡山配水池の隣に1万トの配水池を建設すべく検討を重ねてきた。
具体的な対応として平成19年度は、事業予定地の用地取得及び基本設計を完了しており、できる限り早い時期に実施計画を行い、年次計画を策定し、造成、本体工事及び現在の配水池の解体に向け、財政計画と調整を図りながら、

実現に努力していきたい。

検査器機を有効活用し 脳ドックを取り入れるべき



後藤和信議員
健康で長生きできる健康

今課題となっている。死亡者統計を見ると脳血管疾患での死亡が常に上位を占めている。市民病院では、高度医療の検査器機を有効活用し、市民の健康管理のため脳ドックを

取り入れるべきであるが、その考えは。
遠藤市長 平成19年度における天童市民の基本健康診査受診状況は、対象者1万4403名のうち8562名が受診し、受診率は59%となっている。このうち、集団検診受診者は4264名、人間ドック

の受診者は4298名となっ

ている。平成20年は、セット健診と個別健診の組み合わせで実施しているが、脳ドックについては、セット健診とは別個に個人負担による任意の健診受診となっている。

松本市民病院長 脳ドックのシステムはでき上がっている。今のところは、希望者に行っているが、まだ体制としてやるところまでは至っていない。その原因は、診断する医師であるが、来年度には医師を確保して、体制的に人間ドックを始めようと思っている。

舞鶴山配水池は昭和48年に新設以来、築造後35年を経過し、自然劣化が進んでいる状況である。そこで、耐震性を備えた配水池の移設場所とし



昭和48年に設置された舞鶴山配水池

教育現場での

子どもたちへの指導は



山口桂子議員
最近、「若者
の大麻汚染」
が社会問題に

なっている。本市でも、子どもたちに薬物乱用防止教室が実施されているが、もっと積極的に市全体に広げていかなければならないと考える。薬物乱用防止に対しての市の

取り組みと、教育現場での子どもたちへの指導をどうしていくのか。
遠藤市長 地方自治体における薬物乱用の施策の多くは、保健所を中心に展開されており、警察署との連携も保健所を中心に行われている。市では、日ごろの保健活動の中で、薬物が関連していると推測さ

れる場合、村山保健所、児童警察署に対して報告、連絡を行っている。保健所で、児童市内からは、17人の薬物乱用指導防止員を委嘱し、啓発活動に取り組んでいる。

特に、青少年に対する啓発活動は、学校や街頭でのパンフレット配布などが行われているが、市としては、市報を活用して市民への啓発活動を強化していきたい。
水戸部教育長 小中学校では、保健の学習の中で発達の段階に応じて指導をしている。

一中校舎の診断結果と これからの計画は



狩野佳和議員
天童一中は、市内の中学校の中でただ一

つ避難場所になっていない。校舎の裏側は急傾斜地であることから危険であると考え、平成20年11月末に耐力度調査の診断結果が出るとのことだが、その結果はどうであった

のか。また、その結果に対し、これからの対策・計画をどうするのかを伺いたい。
水戸部教育長 一中の耐力度調査は、20年6月に業務委託し、11月末に完了した。その結果、調査を行った校舎全体で、5417平方メートルのうち、4193平方メートルで耐力度不足が確認され、今後、その部分

を含めて全体的に耐震補強工事を行うか、もしくは耐力度不足の箇所について改築の必要があるとの結果だった。その結果を踏まえて、国及び県の審査を受けながら、対応策について協議していきたい。

また、八幡山の学校北側斜面については、目視による調査を行った結果、土砂崩れや融雪災害などの形跡は見られなかった。今後は、専門的な立場からも意見を聞き、耐震補強か改築か、総合的な判断をしたい。

早期分離に

どう対応するのか



矢萩武昭議員
大規模化が
著しい「天童
中央」天童南

部「長岡よつば」の各学童保育所の早期分離について、どのような対応を考えているのか。また、保育料負担が困難なために、中途退所する児童が多いと聞く。低所得者への「保育料の公的減免措置」が必要と考えるがどうか。

遠藤市長 平成22年以降は、



分離開所が課題の天童中央学童保育所

71人以上の放課後児童クラブは、国庫補助金の対象外とする方針が国から示された。これを受け市では、3カ所の大規模放課後児童クラブの分離開所に向けて、運営主体及び関係機関団体との話し合いを行っているところである。平成21年度内には、具体的な方策を定めたい。分離開所の考え方は、「天童中央」については保健センター跡地利用の可能性を検討している。「天童南」と「長岡よつば」については、公共施設の利活用を探りながら、新たな施設建設を含めて検討したい。

鈴木市民部長 低所得世帯に対する保育料の減免を補助するやり方については、各放課後児童クラブにおける収支の状況、保護者の負担の状況、ひとり親世帯の状況などの実態について調査をして、検討を重ねなければならぬものと捉えている。

総括質疑

12月8日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は次のとおりです。

質疑者一覧

◆日本共産党天童市議団
伊藤 和子

◆政和会
矢吹 栄修

◆かがやき
鈴木 照一

◆議第45号天童市市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正について

市営バス 荒谷・寺津線の変更の際し 利用者等の意見は聞いたのか

伊藤(和)議員 荒谷・寺津線路線が変更されるが、利用者の声をどう聴取し、見直しに反映させたのか。荒谷からゆびあに直接行けなくなる便もあり、乗り継ぎへの支援策を考えているか。

また、見直しにより、運行時間が20分程長くなるが、乗務員との話し合いはされたのか。

鈴木市民部長 市民からの調査結果によると、市営バスを利用する目的として多いものも大丈夫なようにした。

市営バス 今回の変更は小幅なものだが 将来大幅な見直しをするのか

矢吹議員 今回市営バスの路線を若干変更するが、以前から話が出ていた廃線も視野に入れた大幅見直しの検討をし

たのか。また、この改正により、市営バスが真に市民から求められるバスになると考えるのか。

もしさらなる改正が必要と考えるなら、いつまでに変革をするのかを伺いたい。

鈴木市民部長 市営バスは市民各層の利用を前提としており、交通弱者、特に今後も増加が予想される高齢者の移動手段を確保するという観点から、当面廃止はせず、存続すべきものと判断した。

◆議第44号天童市健康センター設置条例の設定について

健康センター 本庁舎から移行するのは どの部門なのか

鈴木議員 健康センターへ移行する窓口業務はどこか。今条例案にある障がい者とは、すべての障がい者を対象とするのか。障がい者の自立支援に関して新たな支援策を持つているのか、また、他施設と如何に機能連携するのか。

鈴木市民部長 健康センターへ移行する部署は、市民健康・障がい支援・母子保健・児童育

成・家庭支援担当業務である。今条例案に規定する障がい者は、身体・精神・知的のすべての障がい児・者を含む。自立支援に関する新たな施策、また他施設との機能連携については、今のところ想定していない。

また、障害者の表記については、法令に準じて漢字で表記しているが、各課の事務分掌並びに一般文書ではひらがな表記を行っている。



拡幅予定の旧郡役所資料館前

予算特別委員会

20年度一般会計予算

7億4473万2千円を

増額補正

原油高騰対策としての福祉灯油購入費助成事業や健康センターに係る土地購入費の計上、国のまちづくり交付金事業を活用した都市施設整備費や県道拡幅に伴うスポーツセンター整備工事費の増額など、合わせて7億4473万2000円を増額する一般会計補正予算及び各特別会計補正予算5件、企業会計補正予算2件は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

裁判員候補人数は

委員 裁判員候補者を選ぶため、住民基本台帳処理システムを修正する当初予算が全額減額されたが、その理由は。また、天童市から選出される裁判員候補は何人か。

選挙管理委員会事務局長 新たな専用ソフトが開発されたので、15万9000円で購入し、当初予算は不要になった。天童市で出した裁判員候補名簿は111名。

スポーツセンター施設整備費

委員 スポーツセンター整備工事費が約2600万円増額され、当初予算の約7500万円とあわせて約1億円になるが、その内容は。

体育課長 資材・鋼材等の材料費の高騰により、価格を見直しするもの。
スポーツセンターの防球ネット等の嵩上げや移設工事であり、新たに工事を起こすものではない。

児童館給食搬送業務委託料

委員 児童館給食搬送業務委託料が約22万円計上されているが、なぜ当初予算で計上せず、今回予算化してあるのか。

学校給食センター所長 今年度から児童館への給食が始まり、搬送量が増えた。給食センターから学校等へ搬入する時間が2時間以内との規定があり、以前田麦野小へ搬入していた車両1台を増車した。回収は以前通りとなっており、この車両は使用しない。

保健センター維持管理費

委員 今まで利用していた保健センターをどう活用していくのか。

健康福祉課長 今後の利活用のために、保健センターの耐震診断を行い市民の方から要望のある施設運営になるようにしていく。
健康センターが新しくオープンした後、落ち着くまで、保健センターの役割を果たしていく考えである。

放課後児童健全育成事業委託料

委員 放課後児童健全育成事業の算出根拠はどうなっているのか。

児童家庭課長 障がい児及び障がい児受入れ推進事業費の増加に伴うもの。
障がい児については、5人から9人になり、4人増加し、1年間の1人単価が68万7000円から、142万1000円になった。

一般会計補正予算(第4号)のあらまし

補正額 7億4473万2千円
予算総額 190億6916万9千円

◆主な内容 (単位：千円)	
裁判員候補者選挙システム修正業務委託料	△2,016
福祉灯油購入費助成事業	8,144
保育園管理運営費	2,532
放課後児童健全育成事業費	7,620
健康センター移転新築事業	122,143
保健センター維持管理費	1,376
施設園芸農業生産緊急対策事業費補助金	911
県営土地改良事業負担金	2,943
都市施設整備費(まちづくり交付金事業)	349,500
小・中学校管理諸経費	6,368
伝統文化伝承事業費補助金	300
スポーツセンター整備工事費	26,439

福祉灯油購入助成

委員 福祉灯油購入費助成事業の対象人数と内容について。
健康福祉課長 対象者は、市民税が非課税の世帯のうち、65歳以上の1人暮らし世帯の方や、65歳以上の人のみで構成される世帯、障害基礎年金1級、2級の受給者のいる世帯、1人親世帯、生活保護世帯など、1500世帯を予定している。一世帯当たり50000円の福祉灯油購入券を配達記録付郵便で配布したい。

ごみ減量化分別指導員の配置

委員 ごみ減量化分別指導員の業務内容は。
生活環境課長 ごみの分別指導や、し尿汲み取り・粗大ごみ搬出の申込受付のほか、事業所からのごみの搬出量とクリーンピア共立受入れ量とのチェックが主なものである。
 また、クリーンピア共立で建設中のリサイクルセンターが稼働すれば新たにプラスチックごみの分類も必要になることから、地域での説明会

対応も業務になってくる。

農業振興対策事業

委員 施設園芸農業生産緊急対策事業費補助金の目的と内容は。
農林課長 今般の原油価格高騰に対応し、農業生産団体が啓翁桜、花き、野菜の苗、桜桃等の施設園芸作物栽培用燃油を3名以上のグループで、共同購入する場合に、燃油高騰に係る差額の3分の1を補助するもの。

畜産振興事業

委員 家畜飼料生産対策事業費補助金の目的と概要は。
農林課長 バイオ燃料増産に伴う飼料価格高騰対策及び家畜飼料自給率向上対策を行うため、畜産農家が家畜自給飼料用種子を農業生産団体やグループで共同購入する場合に、その費用の3分の1を補助するもの。

まちづくり交付金事業

委員 今年度の懸案であったまちづくり交付金を利用した都市施設整備費に関して、天

童北部・天童古城の両整備計画の内容を、変更点を中心に伺いたい。

都市計画課長 まず天童北部に関しては、道路の一部拡幅・改良、側溝整備、電柱の移設などを行い、狭隘な道路の解消を図る。また、ひかり交流広場の整備によって緊急時の避難場所の確保を図る。

今後5年間で、道路の整備を継続して行い、耐震性貯水槽を設置するなど、安全・安心なまちづくりを目指す。

天童古城地区に関しては、散策路の防護柵整備、トイレの設置などを行い、舞鶴山の遊歩道の充実を図る。また、旧郡役所資料館周辺の交通の利便を図るために、道路拡幅の用地を取得する。

今後5年間で、舞鶴山の5カ所において広場整備をし、用地取得、トイレや案内板・照明施設の設置などを行い、舞鶴山の散策コースを充実させ、城山公園の整備などを行って旧郡役所資料館周辺の価値を高める計画である。

まちづくり交付金事業(3億4950万円)を含む一般会計補正予算を可決

II まちづくり交付金事業についての経過 II

〈20年3月定例会〉

当初提案された20年度一般会計予算について、予算特別委員会の審査後、平成20年度からの新規事業として取り組もうとする天童北部及び天童古城の2地区のまちづくり交付金事業等に関し、予算を減額する修正案が提出された。その後、市長要請による協議があり、当初予算を撤回し、新たに修正(減額)した案が提出され、賛成多数で可決された。

〈12月定例会〉

まちづくり交付金事業を含む総額7億4473万2000円の一般会計補正予算が、全会一致で可決された。

まちづくり交付金事業(12月補正の内容)

<p><天童北部地区> 235,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 北久野本線(電柱移転)整備工事 ひかり交流広場整備工事 安全・安心まちづくり側溝整備工事 8路線 	<p><天童古城地区> 114,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 公衆用トイレ整備工事(城山交流広場及び舞鶴山山頂) 大けやき周辺広場整備工事 五日町中央線整備(測量設計及び土地購入) 五日町仲町線整備(測量設計) 安全・安心まちづくり散策道防護柵整備工事
--	---

〈10月21日、臨時会〉

9月定例会で提案され、

否決された内容(一般会計補正予算)から、まちづくり交付金事業に係る事業費を除く内容で再提案され、賛成多数で可決された。

議会のうとぎ

■10月

- 23日 市長要請全員協議会（まちづくり交付金事業の計画について）
- 31日 県・市町村行政懇談会

■11月

- 5～6日 山形県市議会議長会定期総会（鶴岡市）
- 7日 市長要請環境福祉常任委員協議会（市営バスの運行路線の見直しについて）
- 9日 天童市民病院落成式
- 12日 各派代表者会（人事案件について）
- 12日 議会運営委員会（12月定例会の日程について）
- 13日 経済建設常任委員と農業委員会との懇談会
- 17日 市長要請経済建設常任委員協議会（観光交流センターについて）
- 県知事及び県議会議長に対する要望事項の実行運動
- 18日 山形県市議会議長会議会報研修会（南陽市）
- 25日 議会運営委員会
- 26日 各派会長会（議員辞職について）
- 27日 東根市外2市1町共立衛生処理組合議会全員協議会・第3回定例会

■12月

- 1日 議会運営委員会（議員辞職について）
- 1～12日 第5回市議会（12月定例会）
- 1日 議会だより編集委員会
- 3日 各派会長会、各派代表者会、議会運営委員会（議員辞職について）
- 10日 市長要請全員協議会（柔道整復学校、観光交流センターについて）
- 11日 議会運営委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 22日 議会運営委員会（議員の議席等について）
- 各派代表者会（常任委員の選任について）
- 24日 議会だより編集委員会
- 25日 各派代表者会
- 全員協議会（初当選議員顔合わせについて）

■1月

- 21日 議会だより編集委員会
- 22日 全員協議会（緊急経済雇用対策等について）

▼経済建設常任委員長
鈴木照一

森谷議員の辞職に伴う
議会役職の変更

※議員の辞職は、規則により、議会開会中は本会議においての許可、閉会中は議長による許可となっています。

森谷仙一郎議員の
議員辞職を許可

平成20年12月3日に、森谷仙一郎議員から議長に対し、議員を辞職したいとの議員辞職願が提出され、翌12月4日の本会議において辞職が許可されました。

佐藤正男議員の
議員辞職を許可

平成20年11月26日に、佐藤正男議員から議長に対し、同日をもって議員を辞職したいとの議員辞職願が提出され、同日に議長が辞職を許可しました。

新議員の紹介

去る12月21日の天童市議会議員補欠選挙において2人が当選されました。



村山 俊雄
無所属 62歳



松田 耕一
無所属 47歳

私の抱負	「住みよいふるさと」づくり目指して、ひたむきに取り組めます。
住 所	天童市大字山口 666番地
電話番号	656-2374
所属委員会	経済建設常任委員会
会 派	かがやき

私の抱負	みんなの声を市政に反映し、気合いを込めて一生懸命働きます！
住 所	天童市大字矢野目 2546番地の3
電話番号	654-5211
所属委員会	総務教育常任委員会
会 派	かがやき

各市町のゴミ処理負担金が確定

11月27日、東根市外2市1町共立衛生処理組合議会が開催され、平成20年度の各市町の負担金が確定しました。前年（平成19年度）に対して、全体的には横這いで推移したものの、天童市は若干減となりました。年々減少という結果となりました。

これは市民皆さんが取り組んでいる、ゴミ減量の考え方が浸透してきているものと思えます。

平成20年度 各市町確定負担金

(単位：千円)

市町名	H20年度	H19年度	H18年度	前年比
天童市	336,444	339,042	352,188	-2,598
東根市	235,729	232,921	241,964	2,808
村山市	138,531	138,888	146,702	-357
河北町	112,885	111,668	117,510	1,217
合 計	823,589	822,519	858,364	1,070

東根市外2市1町共立衛生
処理組合(クリーンピア)議会報告

12月定例会

平成20年度第5回定例会（12月定例会）は、12月1日から12日までの12日間の会期で開かれました。

市長提出議案である人事案件2件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成20年度天童市一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件、条例案件3件及び一般議案2件の計13件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、最終日の本会議で、市長提出の追加議案1件と議員提出の意見書1件の採決も行われました。

結果は、下記のとおりです。（請願審査の結果については、12ページに掲載しています。）

審議日程

月日	内 容
12. 1	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
12. 4 12. 5	本会議（市政に対する一般質問）
12. 8	本会議（一般議案に対する総括質疑、請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査） 経済建設常任委員会（付託案件の審査）
12. 9	予算特別委員会（付託案件の審査）
12. 10	予算特別委員会（付託案件の審査〈討論、表決〉）
12. 12	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決）

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

議案番号	件 名	結果
議第34号	平成20年度天童市一般会計補正予算(第4号) ※一般会計予算を7億4473万2千円増額し、予算総額を190億6916万9千円とするものです。内容は、原油高騰対策として福祉灯油購入費助成事業に伴う補正、国のまちづくり交付金を活用した都市施設整備事業に伴う補正、健康センターに係る土地購入費の補正が主なものです。	可決 (全会一致)
議第35号	平成20年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
議第36号	平成20年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
議第38号	平成20年度天童市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
議第39号	平成20年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
議第40号	平成20年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)
議第41号	平成20年度天童市水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)
議第42号	平成20年度天童市民病院事業会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)
議第43号	天童市手数料条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第44号	天童市健康センター設置条例の設定について ※平成21年度に開設を予定している健康管理センターについて、必要な事項を定めるもの。	可決 (全会一致)

議案番号	件 名	結果
議第45号	天童市市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正について ※市営バス利用者の利便性の向上を図るため、運行区間の基点及び運行距離を改めるもの。	可決 (全会一致)
議第46号	字の区域及び名称の変更について	可決 (全会一致)
議第47号	市道の認定及び廃止について	可決 (全会一致)
議第48号	天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	同意 (全会一致)
議第49号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意 (全会一致)
議第50号 (追加議案)	天童市国民健康保険条例の一部改正について ※産科医療補償制度の創設に伴う健康保険法施行令の一部改正により、出産一時金の額を引き上げるため、所要の改正を行うもの。	可決 (全会一致)

（議員提出議案）

議案番号	件 名	結果
議案第4号	私学助成関係予算の充実を求める意見書の提出について	可決 (全会一致)

市民の声

私は天童に住んで、20年以上たちます。あまり関心がなかったのですが、知人に誘われて初めて議会を傍聴しました。席に着くまで、いろいろな手続があり、緊張しながら座りました。あまり人はいなかったのですが、時間がたつにつれ、ほとんど席が満席になりました。びっくりしました。

私は、二人の質問を聴きました。とても興味のある要望・質問だったので、くいいるように聴いていました。どの議員の方もですが、市民の声や自分の考えをまとめ議会で出席するのでしょうか、大変なご苦労があると思います。私達市民も、もっと関心を持たなければいけないと改めて思いました。

市議会を傍聴して

村山典子(田鶴町)

その中で「子ども」に関することを要望、質問していただきました。天童は素敵な町です。「天から童」と言われている素敵な所です。子どもがこれから未来を担っていかなければいけません。そんな大事な子どもを応援していただければ、もっと天童は住みよく、発展するのではないかと思います。お二人の要望を聞いて思いました。時間ギリギリまでの意見、市側の答弁とても迫力があり、初めての傍聴だったのでしばらく興奮さめやらぬ状態でした。これまであまり関心がなかったのですが、これを機に関心を持って傍聴に、また行きたいと思いました。

遠藤市長の最後の議会で大変心に残り、また、これまでものご活躍に対して、心から感謝したいと思います。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は3件で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
地域医療の拡充を求める請願	連合山形地域協議会 議長 大浦 淳	環境福祉	不採択 (賛成少数)
石油、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出を求める請願	天童市農民組合 組合長 太田正良	経済建設	継続審査
私学助成予算の充実について	山形県私学助成をすすめる会 会長 境澤和男	総務教育	採択 (全会一致)

3月定例議会の日程(予定)

- 2月27日(金) 開会
- 3月3日(火) 一般質問
- 4日(水) 一般質問
- 5日(木) 総括質疑、常任委員会
- 6日(金) 常任委員会
- 9日(月) 常任委員会
- 10日(火) 予算特別委員会
- 11日(水) 予算特別委員会
- 12日(木) 予算特別委員会
- 13日(金) 予算特別委員会
- 16日(月) 予算特別委員会
- 19日(木) 閉会

※ 請願の締め切りは、2月19日(木)正午までの予定です。
 ※ なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

● 12月定例会は遠藤登市長が出席する最後の定例議会となりました。

● 遠藤市長の辞職に伴い、市長選挙が行われ新市長に山本信治氏が誕生し、新年度予算が生まれ、3月議会では、その審議が行われます。

● 議会だよりが市民皆さまより親しまれ、理解しやすい内容となるよう努力しておりますが、感想、ご意見等をお寄せください。

《議会だより編集委員会》

- 委員長 山口 桂子
- 副委員長 浅井 健一
- 委員 伊藤 和子
- 委員 鈴木 照一
- 委員 狩野 佳和
- 委員 矢吹 栄修